

「あとの回は

イケるよね？」

夫の帰宅前、絶倫義弟に何度もハメ倒される妻

七色風香

61

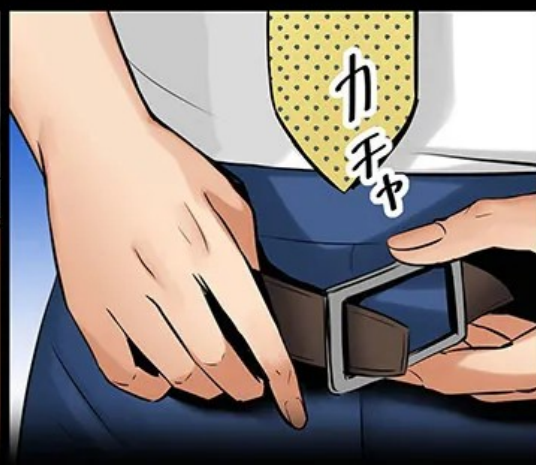




これは…



学さんの誕生日の時の記憶…？



うそ…私…

大丈夫  
だって

望くん  
それ以上は  
ダメ！

カチャ



ギシ

あ

いぢ...

あ

ギッ

ズッ

あ

ギシ



いん...

今更  
やめられないよ!

ゴ...



は

ズッ

ズッ

んあ



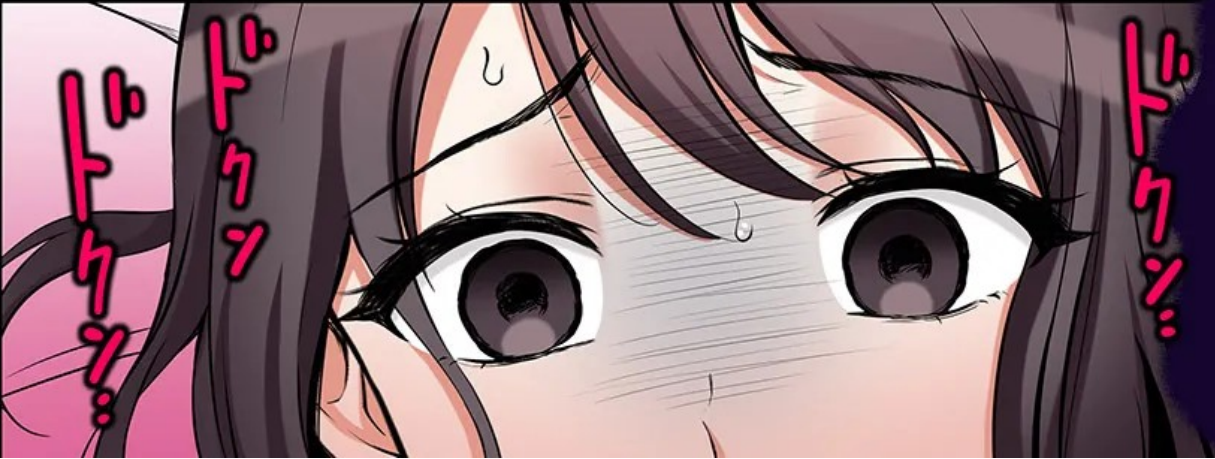
ギッ

はあ

はあ

は

ギ



ドクン!

ドクン

ドクン!

望くんに  
無理やり...



あの日…

なんで  
あんなこと  
したの？

記憶…

戻ったんだね

学さんの  
誕生日で…

望くんが家に  
来た時のこと  
だけ…



七海ちゃんを  
想う気持ちには  
本物だから



あんなこととして  
ごめん…

だけど



私は望くんのこと  
信じてたのにつ



ちよっ…



七海ちゃん

落ちて  
着いて…ッ



今まで  
だましてたの??

私が  
思い出せない  
からって…



……ッ



ぎゅっ…

言い出せ  
なくて…



けど…

だますつもりは  
なかったんだ…



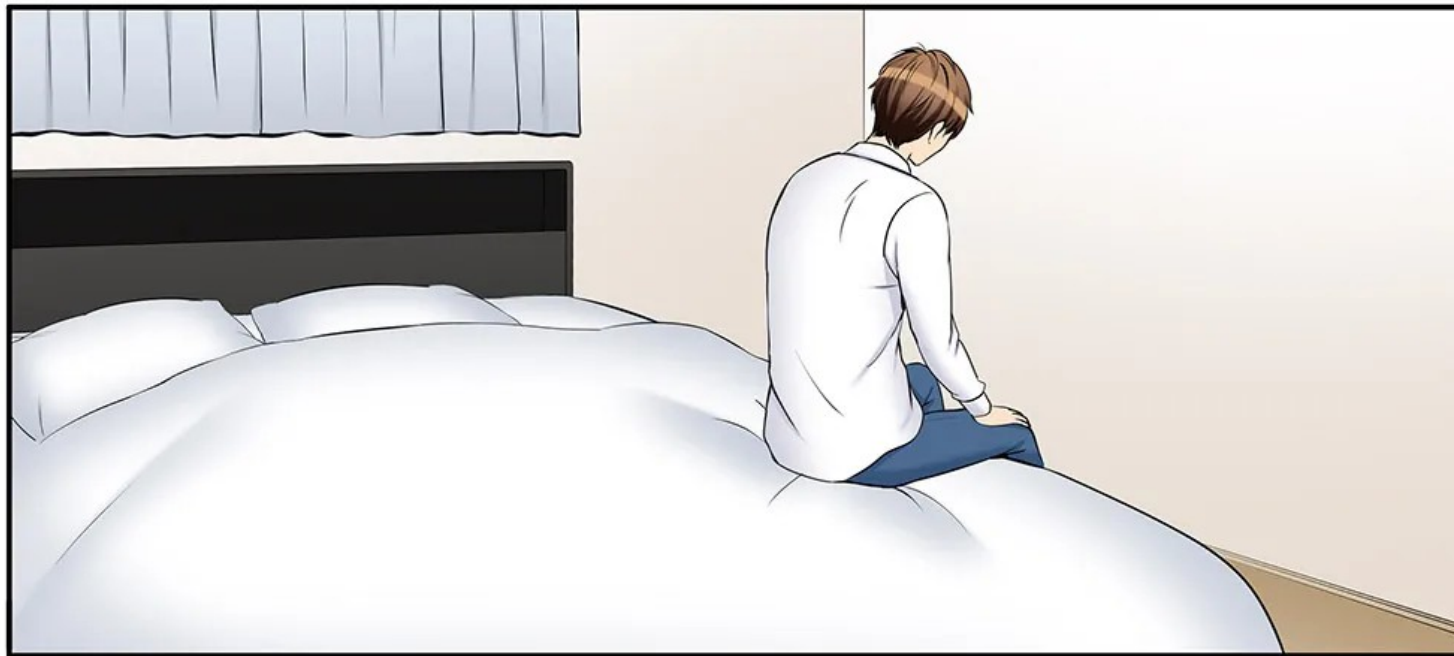
七海ちゃんを  
愛してるから

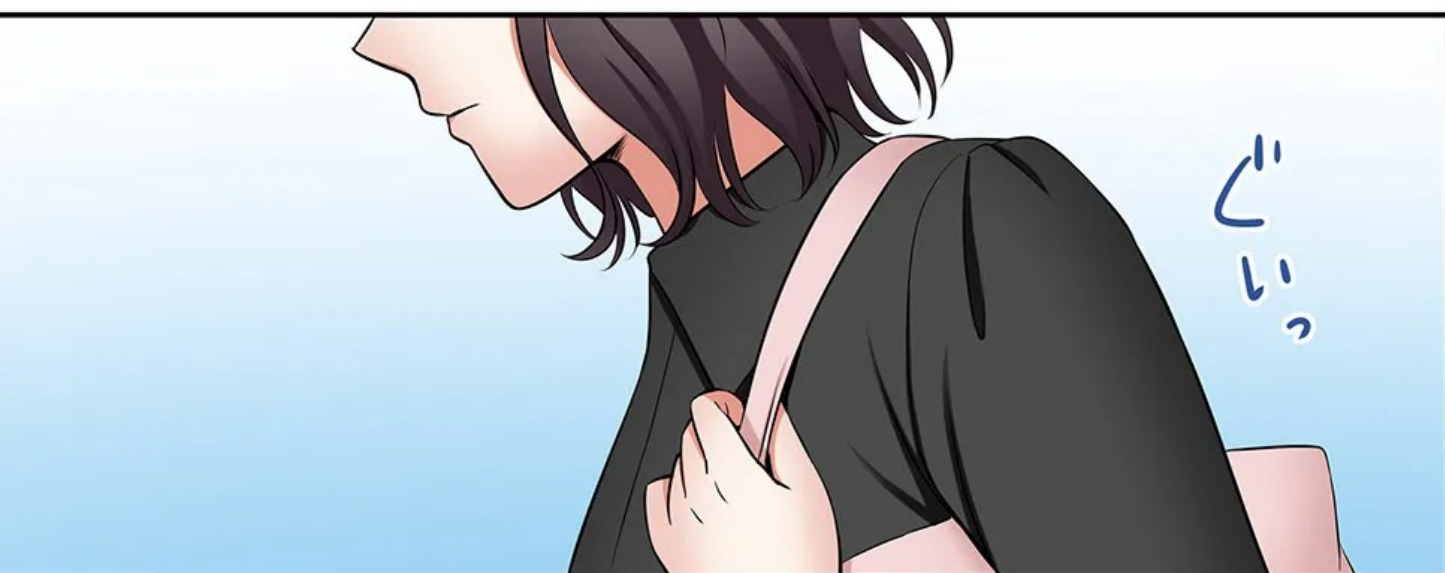
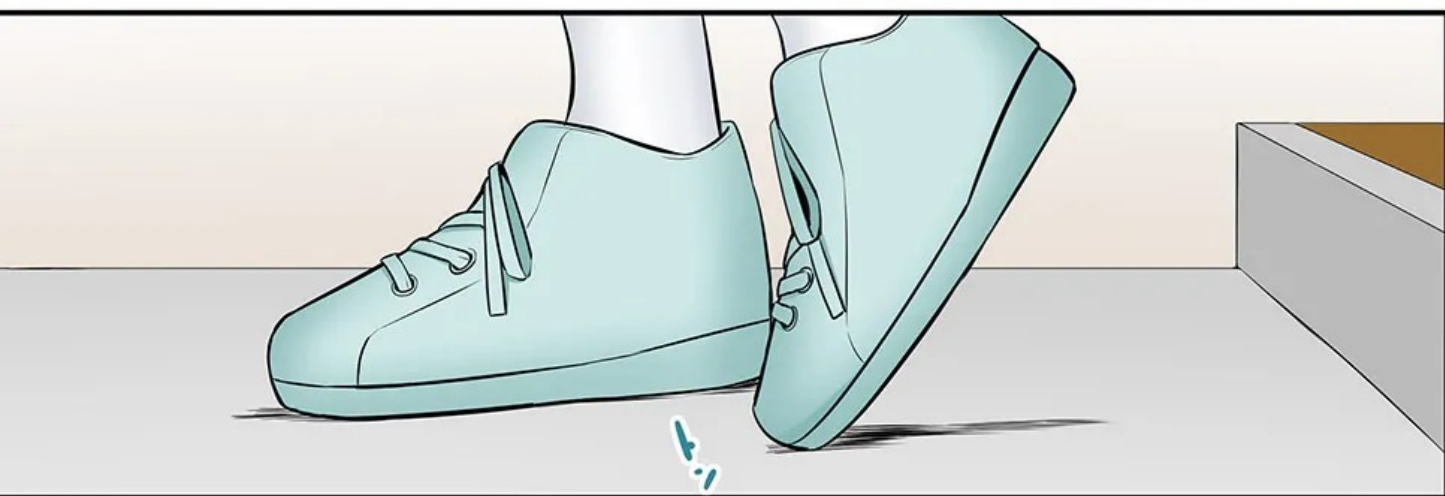


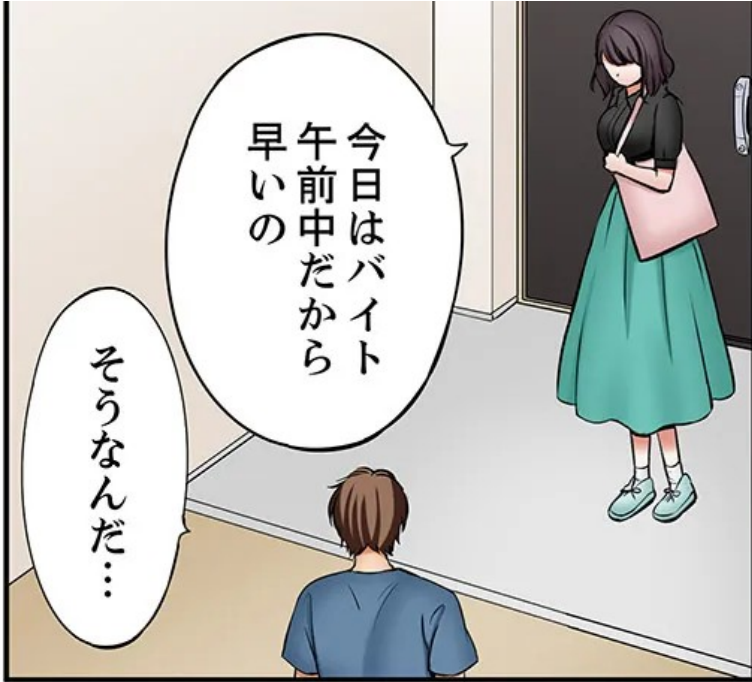
優しくして  
誠実で…

私の知ってる  
望くんは

失いたく  
なかったんだ…！





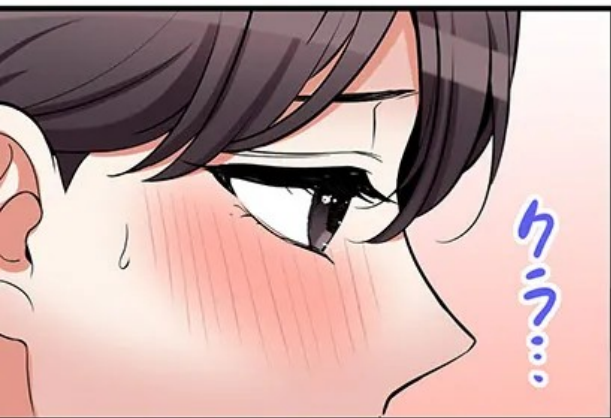




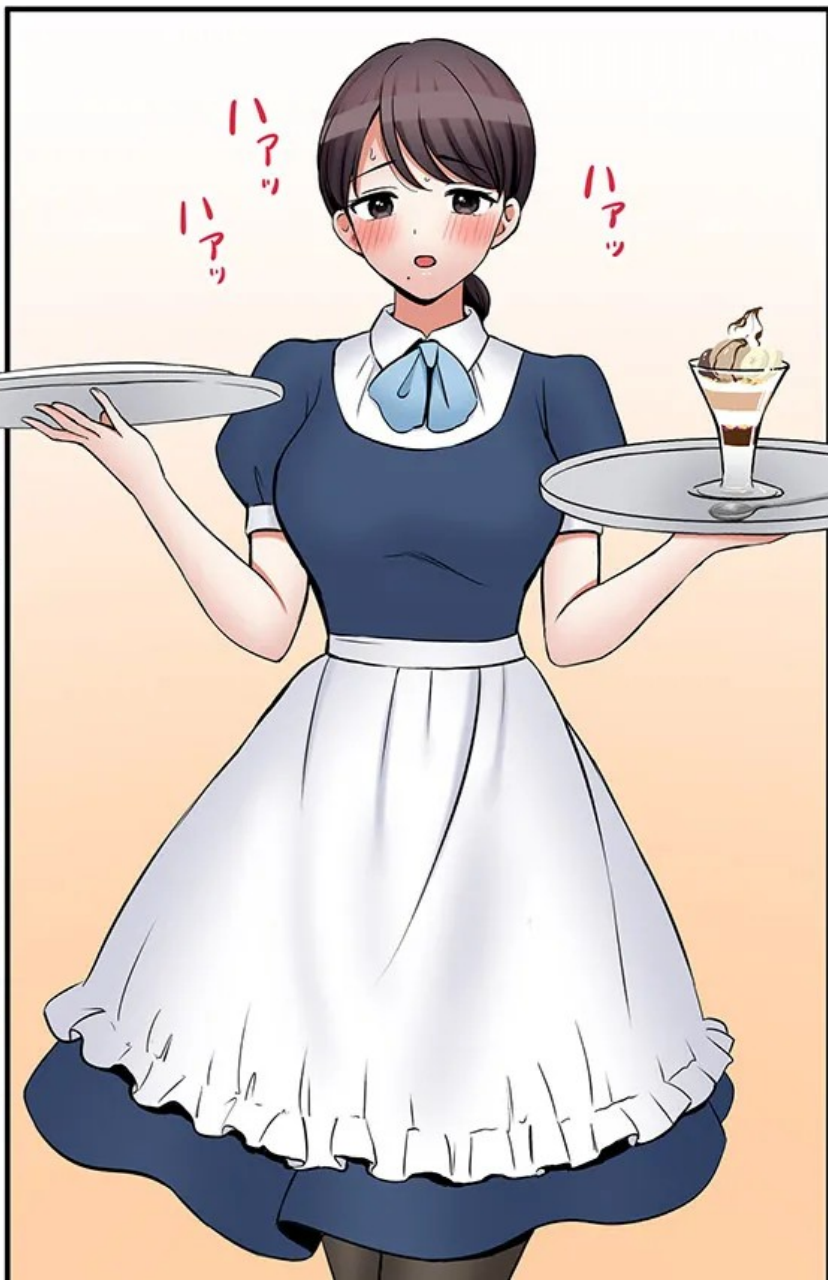
ここに  
帰ってきてね...



お待たせ  
しました...



キラ...



ハアッ  
ハアッ  
ハアッ

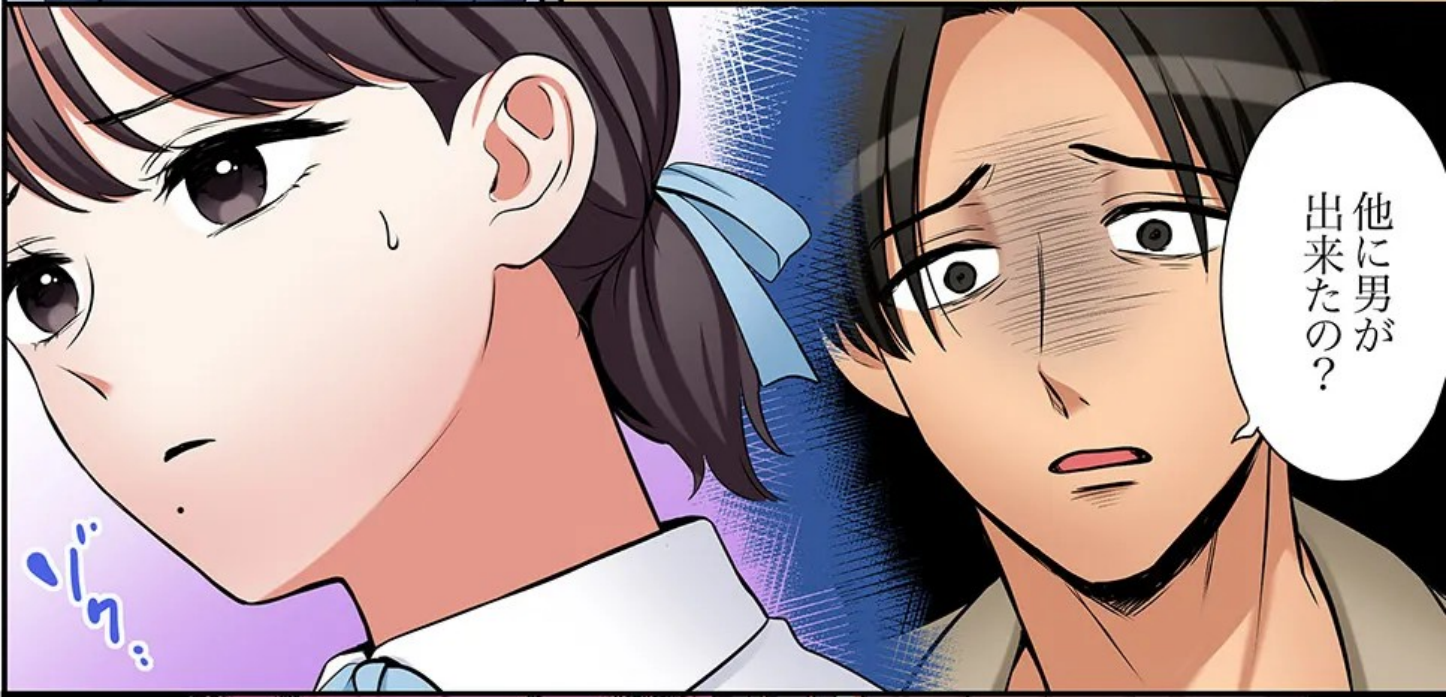
ちらっ



あの人  
田村さん  
また来てる...



他に男が  
出来たの？



正直：

この人と  
付き合ってたとは  
思えない...

ストーリーカー  
だったりにして...





離れようと  
しなかったのは  
どうして？

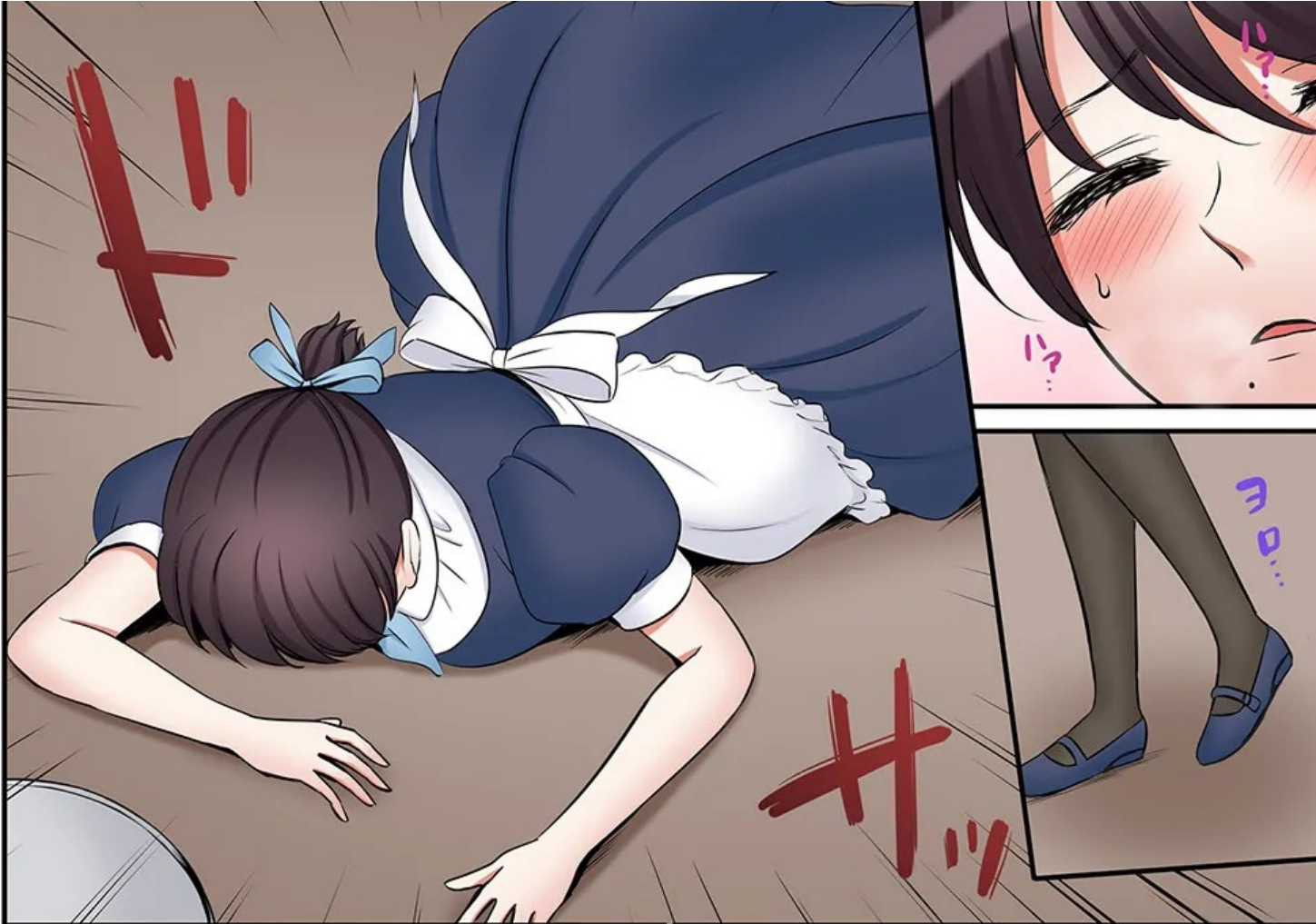
そんなにも  
望くんの絆が  
深かったの…？



七海は  
どんどん  
望に惹かれて  
いつて…



あんなことされたのに





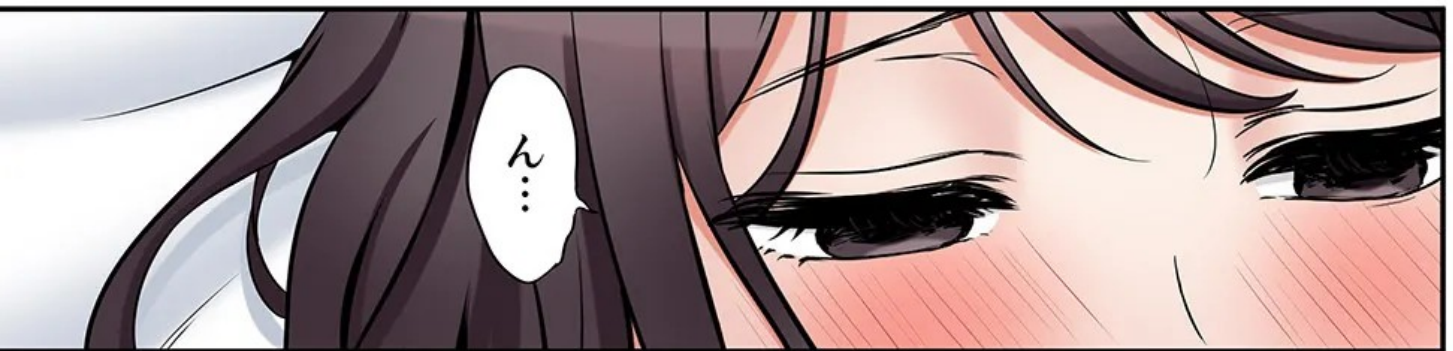
ほんとですか！  
助かりますっ

いい

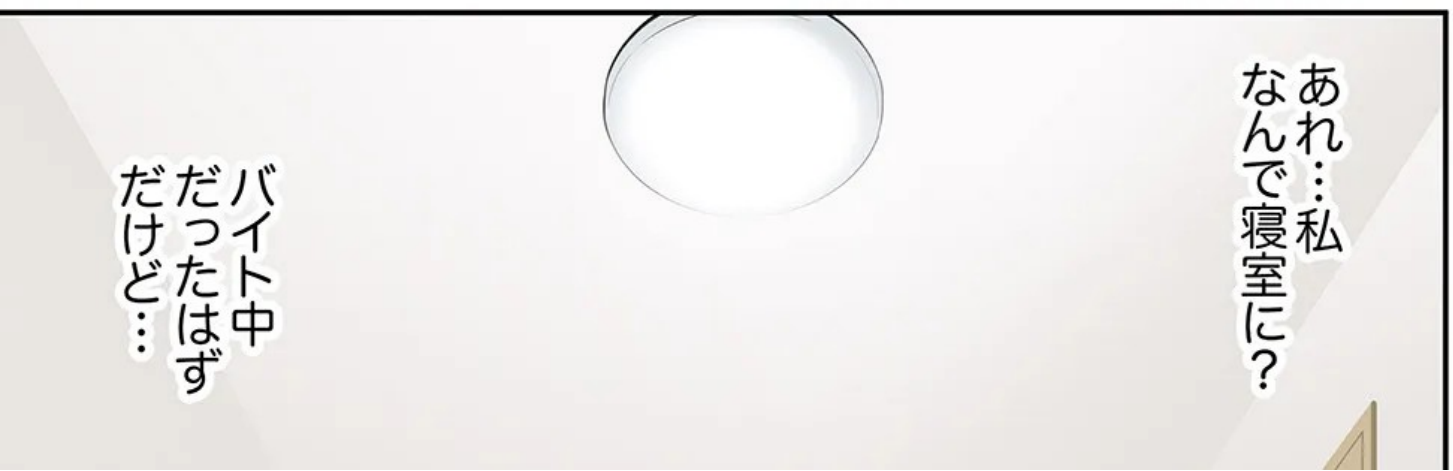


家まで  
送りますよ

僕  
彼女の知り合い  
なんで



ん…



あれ…私  
なんで寝室に？

バイト中  
だったはず  
だけど…





は...

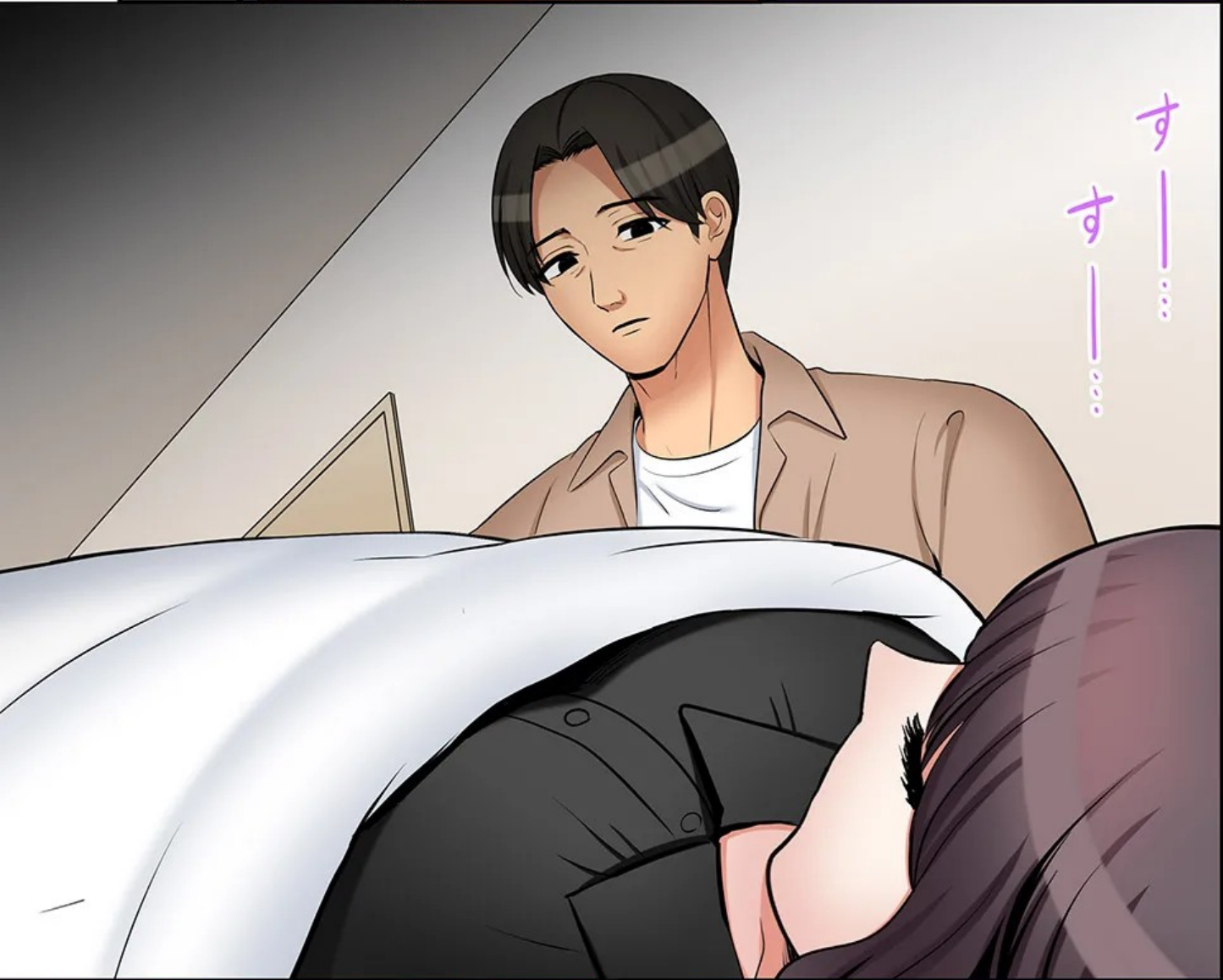
ゆっくり  
休むといいよ



...熱が高くて  
つらそうだね



す...



す...  
す...



ド  
ス  
ニ



はあ...



ここが  
君たちの  
愛の巣か…

ムカつく  
なあ



あの時  
藤咲さんが  
寝言で言った  
男のこと  
だったのか…

のぞむくん…



「のぞむくん」

どこかで  
聞いた名前  
だと思ったら



ひんやり…



僕は君が  
戻ってくるのを  
ずっと  
待ってたのに



藤咲さんツ!!

が

ばっ



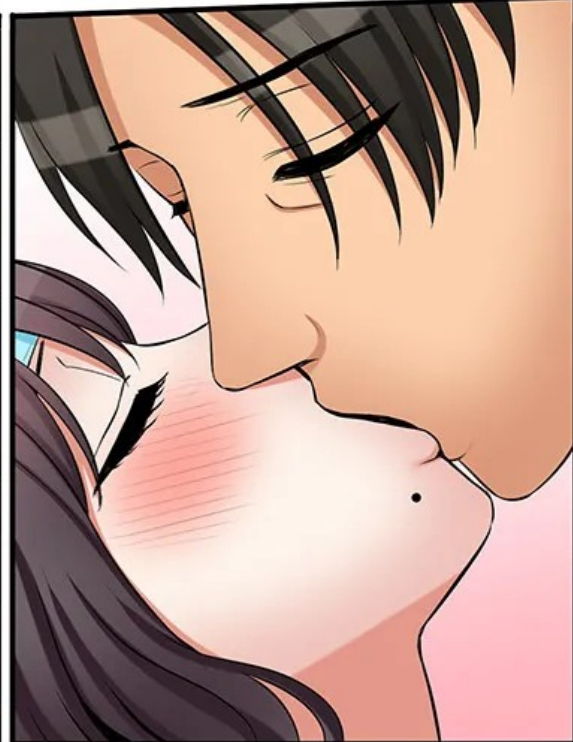
ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

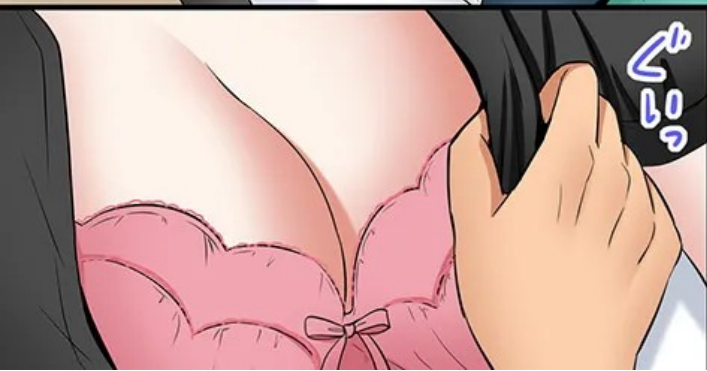
ん...

ぎゅっ



ちゅっ

ちゅっ



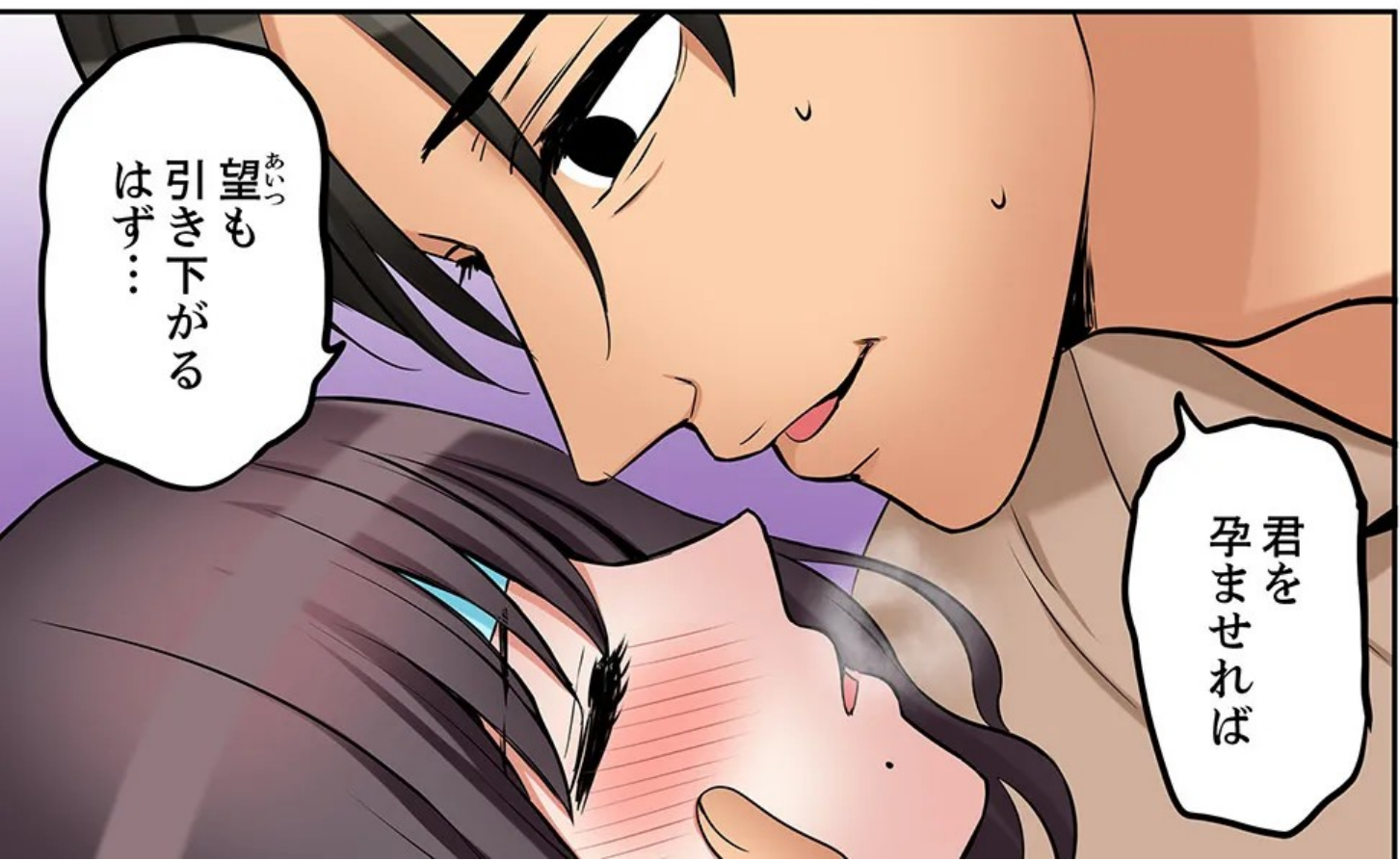
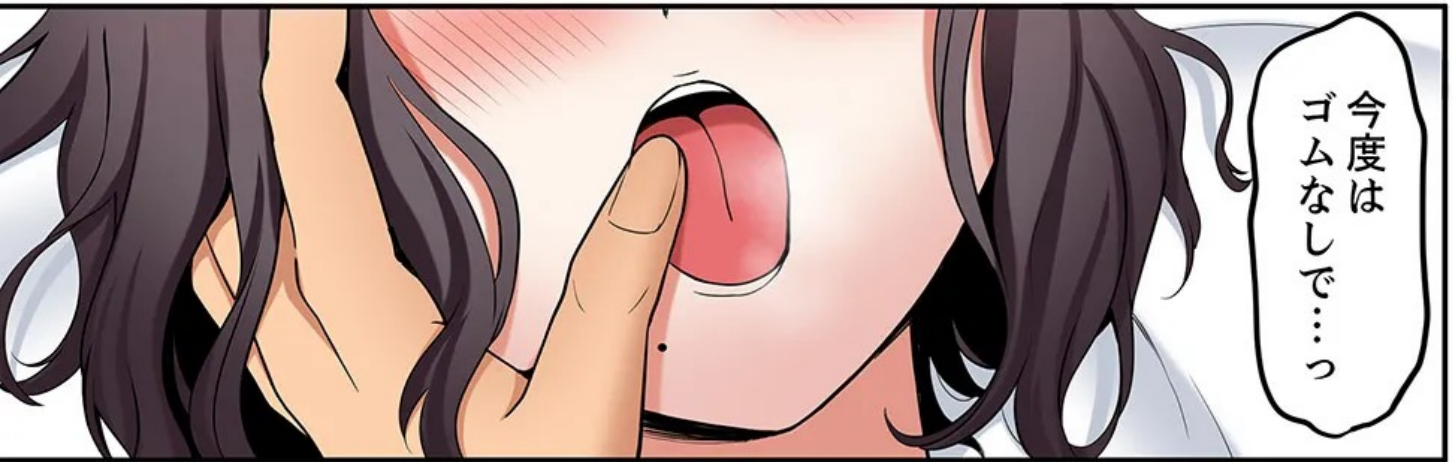
ちゅっ



ん...

ふっふっ







まだ全然濡れてないな...



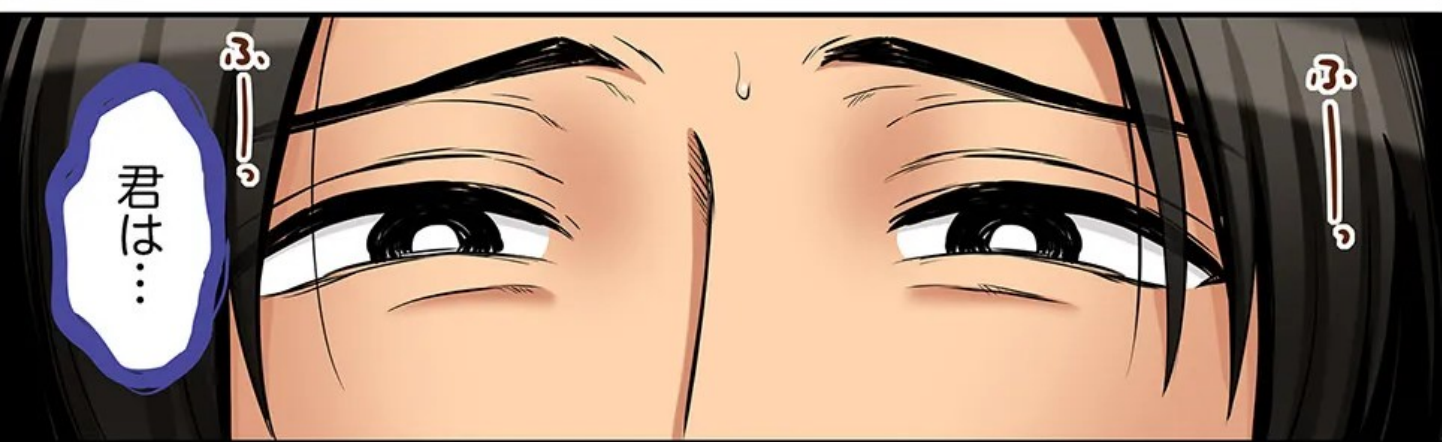
じつくり慣らしてあげないとね...

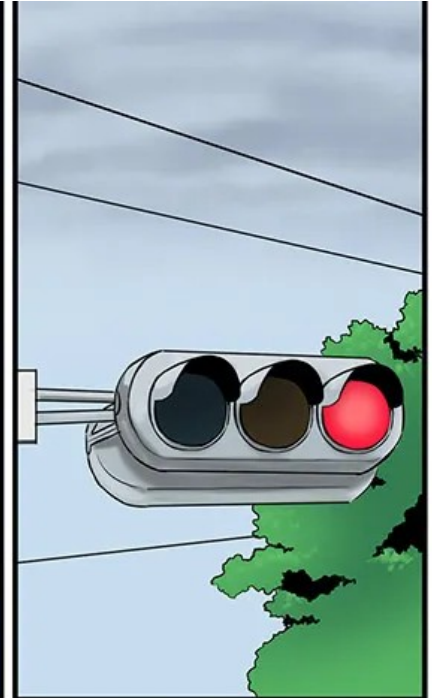
痛くないように



大丈夫だよ

いきなり挿入れたりしないから





七海ちゃんと  
話したい…

# 「あと3回はイケるよね？」 夫の帰宅前、絶倫義弟に何度も ハメ倒される妻61

著者

七色風香

発行

モバイルメディアリサーチ

この物語はフィクションです。  
登場する人物・団体・名称等は架空であり、実在のものとは関係ありません。  
本作品の全部あるいは一部を無料で複製・転載・配信・送信したり、  
ホームページ上に転載することを禁止します。  
本作品の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。  
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

©Fuka Nanashiki/MMR